

アービタックス療法

FN 低:催吐性 最小
診断名:EGFR 陽性進行・再発大腸癌

○投与スケジュール (1コース 28 日)

Day1、8、15、22(点滴):アービタックス div 250mg/m² 400mg/m²(初回投与のみ)

インフュージョンリアクション

多くは初回投与中又は投与終了後1時間以内に出現

インフュージョンリアクションのリスクがなければステロイドは不要

○注意事項

1. 有害事象:インフュージョンリアクション 10%程

皮膚症状(ざ瘡様皮疹、爪囲炎等) 86. 1%、疲労37. 8%、掻痒症37. 2%、

悪心26%、

頭痛19. 1%、下痢18. 1%、食欲不振17. 7%、爪の変化17. 7%、嘔吐14. 9%、

口内炎14. 6%

頻度が少ないが注意を要するもの: 間質性肺炎、電解質異常、眼障害、心障害

2. Grade3以上のインフュージョンリアクション: 直ちにアービタックスの投与を中止、再投与しないで下さい。

Grade1, 2のインフュージョンリアクション: 投与速度を50%減速して下さい。反応性が不良の場合は中止、一方、反応性が良好な場合は減速した投与速度で継続して下さい。

3. 皮膚症状: 顔面、胸部、背部、腕等に好発、3週間以内の発現が多い。皮膚科医師にコンサルトする。

対処法:軽度ではロコイドクリーム及びダラシン T ゲルを局所に塗布。全身性になればミノサイクリン 100mg1日2回点滴。重症の場合はさらにソルメルコートを追加する。

Grade3以上の皮膚症状発現で中止基準及び減量基準あり。

2019年9月2日より施行

アービタックス、ベクティビックスの 皮膚障害を軽減する薬セット

★予防のミノマイシンについては、主治医の判断で処方をお願いします。また、処方される場合は2週間程度の処方とし、定期的な採血と副作用のチェックをお願いします。

＜ 予防または治療に使用する薬 ＞

Rp1. ミノマイシン錠 又は ミノマイシンカプセル
1回 50 mg 1日 2回 朝夕食後(治療当日より)

1回 14日分程度処方し、定期的な副作用チェックをお願いします。

[相互作用]: 金属カチオン(Mg, Ca, Al, Fe 等)と同時服用した場合、キレート形成しミノマイシンの薬効が低下します。2時間程度ずらして服用すれば大丈夫です。同時服用薬剤にご注意をお願いします。

Rp2. ヘパリン類似物質クリーム 又は
ビーソフテンローション
1日 2～数回 乾燥しているところ(治療当日より)

＜ 症状が出たら使用する薬 ＞

Rp3. ロコイド軟膏(マイルド)
1日 2回 朝夕 顔

Rp4. マイザー軟膏(ベリーストロング)
1日 2回 朝夕 顔以外

#

#